

福岡県薬物乱用防止 地域対話集会



11月18日 **水** 14時～16時

福智町同和研修センター

薬物乱用の摘発者数は、福岡県が9年連続で全国ワースト1位。さらに筑豊地区がその半数以上を占め、福智町でも急増中です。身近な青少年たちが薬物乱用の危機にさらされている状況の中、地域が一丸となって薬物乱用問題に立ち向かうため、地域対話集会を開催します。一人でも多くの皆さんのご参加をよろしくお願ひします。 **福智町教育委員会学校教育課 ☎ 28-2119**

内 容

■特別講演

「君たちに望むこと」

佐賀県立盲学校教諭 牟田征二氏



佐賀県立盲学校であんまやはり、きゅうの教諭として働くかたわら、薬物の恐さをひとりでも多くの若者に知ってほしいと講演活動をしている牟田さん。14歳冬からのシンナー乱用により、18歳で視力を失った苦しい経験から、薬害の恐ろしさを訴えかけます。

■パネルディスカッション

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

コーディネーター

福岡県保健医療介護部薬務課長 田先弘氏

パネリスト

佐賀県立盲学校教諭 牟田征二氏

飯塚少年サポートセンター 大月祥子氏

赤池中学校教諭 小椿裕治氏

麻薬・覚せい剤乱用防止センター 阿部俊三氏

町内小中学生4人が登壇予定

■町内中学生による決意のことば ほか

【主催】(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、福岡県薬物乱用防止指導員田川地区協議会(田川地区保護司会)、福岡県薬物乱用対策推進本部 【共催】福智町青少年問題協議会 【後援】厚生労働省、福岡県シンナー等取扱業者連絡協議会

町長日誌

▼今年のノーベル平和賞が、アメリカのバラク・オバマ大統領に授与されることになった。10月9日にノルウェーのノーベル委員会が発表したところによると、全世界から推薦された205の個人・団体の中から選ばれたそうだ▼現職の米国大統領の平和賞受賞は、ウッドロー・ウィルソン氏以来で90年ぶりの快挙となるが、大統領に就任して9か月足らずでの受賞は、極めて異例なことだと思われる。恐らく、人種の壁を越えた、「チェンジ」の叫び声共鳴し合つて、強力な後押しとなったのではないだろうか。また、4月にチェコのプラハで行った演説(9月号の広報紙でも触れた)で、「核兵器を使った唯一の国として、核軍縮へ行動する道義的責任がある」と述べ、「核のない、平和で安全な世界を米国が追求する」と宣言したことが、決め手になったのは想像に難くない。更に、いま世界が直面している地球温暖化問題についても真摯に受け止め、その解決に向けて世界をリードしようとする積極的な姿勢を示していることも、高評価を得たのではないかと思う▼

いづれにしても、グローバル化が進み、地球規模での深刻な問題が山積している現状を打開するためにも、オバマ大統領には超人的な働きをしてほしいと切に願うばかりである。と同時に、日本を含む各国が真剣に力を合わせ、希望あふれる世界の創造に向けて、力強く行動を起こさなければならぬ。「イエス・ウィ・キャン」を現実のものとするチャンスは、今をおいてないと思つている。

浦田 弘二